

意見箱によせられた意見と回答について

①全年齢層への自立・自助支援の取り組みと、自分らしく生きる、自分を生きることができ
る様にメンタルケアを中心に早急な対策を切望します。

(回答)

介護を含めた今後の福祉の在り方は、「家庭や地域」が大きな役割を担っていくことが想
定されています。その中で課題となってくるものは、いかに当事者が生きがいをもって継続
的に家庭や地域のなかで暮らしを営んでいくということと、そこに携わっていく方々の存
在や負担の軽減への取り組みが一層重要視されていくことと思われまます。

これまでも行政主導で地域福祉の取り組みはいろいろと行われてきました。しかしなが
ら、その効果も短期的なものや事業予算の終了とともに縮小していくものが多かったのだ
ではないでしょうか。いかに継続的に取り組んでいくためには、住民の皆さんが課題を把握し、
主体的に活動できるか否かにあると感じております。

最たる例は、町内の集会所等で行われているサロン活動等ではないでしょうか。このよう
な活動は住民の方々が相互に関わることで孤立感等の軽減にも効果があると思われまます。
また既存の活動に捉われず、住民の方々が色々な小規模グループの主体的活動を支援する
動きも行政関係機関では行っております。

その他サロン活動以外にも、中芸広域連合で行われている地域の子育て支援拠点「遊分舎
(あそぶんじゃ)」や「認知症カフェ」など、当事者のみならず関係者が関わり情報交換が
行われる機会も町内にはございます。

メンタルヘルスに特化した取り組みは行われていないのが現状ですが、当町においては
今後も、先述した取り組み等の充実を図り、行政の行う“公助”だけでなく“自助・互助・
共助”が行われる支援づくりに努めてまいりたいと考えております。

②高田集落へ上がる道（水道施設）の改良要望について

(回答)

現地調査等行い検討している内容について回答いたします。

旧西岡組から水道施設を経由し高田の集落へ行く道については、高低差が非常にある為、
カーブ等多用する必要があるため結局狭あいな道路となってしまうことが懸念されまます。

事業費、関係用地の多さから現実的に可能なルートを検討したところ、現在メインとして
使用している町道高田線を部分的に改良し車の擦れ違いがしやすいよう待避所を設ける工
事が最適ではないかと考えまます。

現在の道路幅員で緊急車両（救急車や消防車）が通行可能であることも確認してございまます。

日常の維持管理や台風後のパトロールは重点的に行っており、倒木等撤去も台風経過後には作業を行っておりますので、今後も通行止めにならないよう、また通行止め発生時には早期解放にむけ、配慮してまいります。